

02九ハ協発第30号  
令和3年3月2日

関係各位

九州ハンドボール協会  
会長 加納洋二郎

「令和2年度 第33回 九州中学生選抜ハンドボール大会」  
の大会運営について（お知らせ）

早春の候 皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。  
日頃より、本協会の事業につきましては、格別のご理解を賜り厚くお礼申し上げます。  
さて、九州各県では、新型コロナウイルスの感染者数が少しずつ減少傾向にあり、九州各地のフェーズレベルが下がってきておりますが、まだまだ予断を許さない日々が継続しています。

標記大会については、チーム役員・選手をはじめとし、保護者の皆様も運営の動向が気になることと推察します。本協会では、今大会が新年度以降のブロック大会の新たな運営モデルとなる重要な大会と位置づけ、開催地の大分県ハンドボール協会と感染防止対策に重点を置いた運営方法について協議を重ねてきました。

つきましては、下記の通りの運営方針を示し、今後も大分県（大分市）の関係機関との協議を重ねていき、大会の最終準備を推進していきたいと思っております。

従来ブロック大会とは異なる点が多々あり、たいへんなご負担をおかけしますが、「感染防止対策を施した新しい大会運営」について、ご理解・ご協力いただきますようお願い申し上げます。

記

【感染防止対策を施した運営による従来とは異なる主な点】

- 3月19日（金）の「代表者会議」「開会式」は、開催しない。  
代表者会議で伝えるべき必要な情報は、事前に配信する。
- 決勝戦後の「閉会式」は、開催しない。試合直後に「賞状授与」のみ行う。
- 「完全無観客」での運営とし、観客の入場制限を行う。  
チーム関係者の入館には、事前に送付される「IDカード」が必要となる。
- チーム関係者の入館・退館については、試合に合わせた時刻を指定する。

詳細については、今後発出される「競技上の注意」「感染拡大防止ガイドライン」等に記載しておりますので、ご確認をお願いいたします。

以上